

採用
手法受入
支援教育
育成キャリア
プランコミュニ
ケーション

将来の目的の共有、早期役職登用により 組織全体の士気向上を実現、海外展開も進展中

採用・定着・活躍のポイント

- ✓ 面接後インターンシップの実施
- ✓ 目的の明確さ、モチベーションの高さを見極めた採用
- ✓ 入社2年目でリーダー職へ役職登用



タンさんと農場スタッフ



懇親会の様子

有限会社エムケイ商事

所在地：宮崎県都城市
神之山町4861番地1
創業：1995年
資本金：300万円

従業員：23人（うち外国人5人）
事業内容：飼料、肥料、農薬販売、
農業、養豚
HP：http://www.mk-shoji.com/

農業ではドローンによる農薬散布、養豚ではITを活用したデータ管理システムの開発や、自社ブランド豚「お米豚」の開発等、独自の工夫により売上を伸ばしている。最近では、ベトナムからの畜産資材の輸入も開始し、さらなる事業展開を進めている。



取締役社長 黒木 守春氏

タンさんが翻訳した
ベトナム語の会社パンフレット

高度外国人材採用の目的・きっかけ

元々、ベトナム人技能実習生を採用していましたが、彼らの仕事に対する熱意や道徳心が素晴らしく、ベトナム人ともっと一緒に仕事をしたいと思い、ベトナム進出を構想しはじめました。

そこで、ベトナム語と日本語が堪能で進出する際のリーダーになってくれるような方を、高度外国人材として採用することにしました。

高度外国人材採用・定着の課題・工夫について

タンさんの採用を決めたポイントは、タンさんには「養豚技術を学び母国で事業を興し両親を助ける」という明確な目的があり、当社の海外展開の目標と合致させることができました。明確な目的があれば、必ず活躍してくれると考え、採用を決めました。実際に、2年目でリーダー職を任せられるほど、モチベーションも高く頑張ってくれています。

定着の工夫として、面接後、1週間のインターンシップを実施しました。夜は日本人社員、ベトナム人技能実習生も交えて食事会をする等、地域と仕事、

スタッフのことをよく知って納得したうえで入社を決めてもらいました。

高度外国人材採用による企業戦略・経営の成果

まず、ベトナム語の会社パンフレット作成や翻訳通訳等、ベトナム語のやりとりの仲介を、タンさんがしてくれるようになったことで、現地の行政や取引先とのやりとりが大変スムーズに進むようになったことが大きな成果です。

また、タンさんのモチベーションの高さに刺激を受け、日本人新卒社員の士気が向上したほか、同郷出身のタンさんの活躍を見て、ベトナム人技能実習生の士気も高まり、組織の活性化につながっていることも成果の一つです。

現場の声（外国籍社員へインタビュー）

グエン ティエン タン氏
(ベトナム出身)

—どのような仕事をしていますか？

ベトナム進出のための翻訳通訳や、マーケティング等です。

—どんな時にやりがいを感じますか？

日本語力を活かしてベトナム人と日本人の交渉がうまく進んだときです。

—日本で仕事をして困ったことは？

まず方言に困りました。

「あのさあ」「よかあ」等、最初は意味がわからず、毎回確認しながら覚えました。

もう一つ苦労したのは、時間感覚に慣れることです。ベトナムでは1分の遅れでは何も言われませんが、日本では遅刻になります。この感覚に慣れるのには苦労しました。

—将来の夢は何ですか？

エムケイ商事で、事業の運営や最先端の養豚技術を学んで、ベトナムで養豚事業を興し、両親を助けることです。